

常総学院同窓会々報

発行/常総学院高等学校同窓会 編集/同窓会会報編集委員会
委員長/飯田晃久 印刷/侑大鵬社



文武両道の進学校として



学校法人常総学院 理事長

桜井 富夫

常総学院同窓会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また日頃より母校の発展のために温かいご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。

本校の教育目標は、社会に貢献するエリート・リーダーの育成にあります。そのため在校生には、将来、職場や地域、さらには日本や世界のリーダーとしてプライドを持って社会に貢献できる人物となれるよう、在学中は学力向上に努め、皆勤を目標に精神力を鍛えることを説いています。また、近年は論理的思考力やプレゼン能力の育成など、キャリアアゲイダンスを意識した教育活動にも力を入れています。

その結果、平成二十五年度も、母校では多くの教育活動の成果を残すことができました。詳しくは、本誌をご覧ください。思いますが、大学合格実績にしても部活動実績にしても、文武両道の進学校にふさわしいものです。特に昨年度の実績として目を引いたのが、科学部が茨城県大会に優勝して「科学の甲子園」への出場を果たしたことです。しかも総合第五位、私立第一位、ホバー部門で第一位という輝かしい結果を残すことができました。硬式野球部とともに、こちらでも「甲子園常連校」となってくれることを期待しています。

今年度も母校では生徒・教職員そして保護者が一体となって、学習活動、部活動、学校行事に全力で取り組んで参ります。同窓会会員の皆様には、さらなるご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

その結果、平成二十五年度も、母校では多くの教育活動の成果を残すことができました。詳しくは、本誌をご覧ください。

活躍する 卒業生

第四期生 伊沢勝徳

皆様、こんにちは。第四期卒業生の伊沢勝徳と申します。

前回(平成十七年)に続き、二回目の寄稿の機会を頂き、誠にありがとうございます。現在、茨城県議会議員(土浦市選出(二期目))として、愛する故郷茨城県の発展の為、微力ですが、忙しい毎日を送っております。

よく、「なぜ政治家に」と聞かれます。少し振り返りますと、平成元年に常総学院を卒業し、大学を経て、現在の礎となる国会議員の秘書として九年間務めました。その間、国会と地元茨城を往復し、多くの方と触れ合い、多くの方と会話し、地元茨城の現状と多くの課題を目の当たりにするようになり、自分が生まれ育った「茨城を何とかしたい」「自分には何か出来ることはないだろうか」と日々考えるようになったことが政治を志した始まりでした。そして丁度そんな時、地元の皆様のご推挙を頂き、平成十四年の県議会選挙で初当選させて頂いて以来、常総学院の教職員の皆様をはじめ、

多くの皆様に支えられながら、今日に至るまで、自分にできることを精一杯努めながら歩んでおります。

ところで、皆様は卒業後、母校を訪ねたことがありますか。私は、自分の選挙区が、母校常総学院の所在地である土浦市ということもあり、よく学校を訪ねます。卒業してから二十六年が過ぎましたが、入学式や卒業式、学園祭等で後輩達と接する度、校歌を聞く度、自分の在学中をよく思い出します。甲子園での応援・北海道への修学旅行・学校生活・先生からご指導頂いた事等、楽しく充実した三年間だったと思います。現在、後輩達が集い学ぶ母校が、全国的にも有名になり、後輩達の活躍を耳にする度、我が事のように大変嬉しく、又、学生時代が昨日のこの様に思い出され、感慨深い思いがあります。

また、当時ご指導頂いた先生方とお話をするのも楽しみの一つであります。私が卒業してから二十六年経ちますので、退職された恩師も少なくありませんが、それでも尚、未だに色々ご指導やご心配を頂いております。これも公立のように数年毎に異動のない私学の良さだと思えます。聞く所によりますと、卒業生の子どもたちも多く入学しているとのことですが、親子二代で同じ学び舎にて学べることは素晴らしいことだと思います。現在、少子化が進む中、子どもたちが入学したい、学びたい学校として発展している事は、卒業生として誇らしい限りです。卒業生の皆様も、それぞれお忙しいとは思いますが、機会をみつけ学校を訪問し、後輩達を励まして頂ければ幸いです。どこか懐かしく温かい気持ちになれるような気がします。

以上、とりとめもない事を書きました。私の履歴、私の人生の中で常総学院で学んだことは、大切な一ページであり

ます。校長先生の「常総生としての誇りを持って」という言葉が、成人し、社会人となり、親となった今、深く心に刻み込まれていることを実感します。堂々と胸を張り、常総魂を持つて人生を歩む卒業生であり、同窓生でありたいと思っております。今後も母校の発展の為、後輩達の活躍の為、微力ですが力を尽くしてまいります。と思っています。

母校、常総学院高等学校の更なるご発展、卒業生のご活躍を心からご祈念致しまして、結びと致します。ありがとうございます。



本校OBが東北大学にて 総長賞を受賞!

照山裕太さん 工学部専攻(工学部研究科)
博士課程前期2年 渡邊研究室
常総学院高等学校卒業

3月26日、東北大学において研究業績が最も優れた優秀な学生として、本校22期(内進6期)生の照山裕太さん(工学部専攻(工学部研究科))が総長賞を受賞し、授賞式において表彰されました。東北大学から総長賞を受賞した卒業生は、17期(内進1期)生の日高高徳さん(医学部医学科)に続いて2人目となります。

この度は総長賞という栄誉ある賞を賜り、大変光栄に思います。終始熱心に御指導くださった渡邊先生をはじめ、数々の議論を通じて有益な御意見、御指摘をくださった渡邊研究室の関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

改めて東北大学での生活を振り返ると、学部入学当時から希望していた医学部研究科への進学が叶い、また、今後リハビリテーション支援をはじめ様々な分野への貢献が期待される、慣性センサーを用いた運動計測システムに関する研究に携わることができ、非常に充実した日々でした。

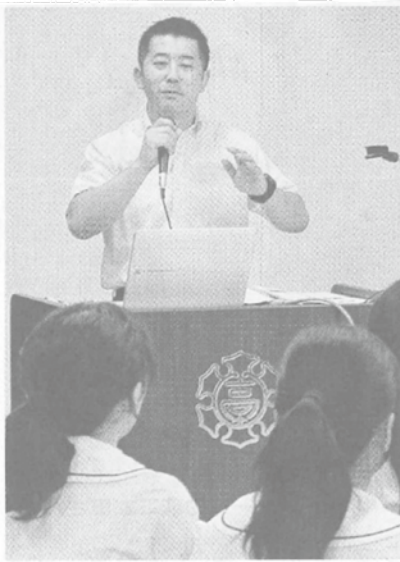
今後は、新たな地で研究開発に携わることとなりますが、東北大学で培った経験や知識を基に、より一層精進して参ります。(東北大学HPより)



11期卒業生 外交官

井上隼一さん講演会 開催!!

6月16日(月)、本校卒業生で外務省職員の井上隼一さんによる進路講演会が行われました。進路講演会はキャリアガイダンスの一環として年数回実施されているもので、今回は文系の生徒を対象に行われました。高校在学中の様子から大学を経てどのようにして現在の職業を選択するに至ったのかまた、外交官の仕事をもっと具体的な事例を示しながらわかりやすく説明していただきました。



外交官の仕事の後輩たちに話す井上隼一さん＝土浦市中村西根の常総学院高

「尊敬される国に」

常総学院高 O B の外交官が講演

外務省の職員を講師に、外交・国際問題について考える講演会が16日、土浦市中村西根の常総学院高(玉井尚良校長)で開かれ、2、3年生150人が外務省の仕事や職業としての外交官について理解を深めた。

講演は外務省の職員派遣事業の一環で行われた。講師を務めた同高OB、外務省総合外交政策局総務課長補佐の井上隼一さん(37)は「日本が好きで、世界から尊敬される国にしたい、という気概がこの仕事を続ける理由」と語り、井上補佐は「集団や国同士の利害の調整、交渉役として利益を守るのが外交官の仕事」と定義。外務省は「言葉」を武器とした諸外国との交渉の海外の日本人・日本企業の保護・支援③日本人が住みやすい国際環境やルールを整える④日本文化の発信・普及⑤など多岐にわたる役割を解説した。

外交官になつたきっかけについては、高校時代の米留学の苦労を披露。「言葉は通じず、友人は出来ず、大変な日々だったが、日本人としての自覚、意識が強まった」と振り返り、「学生時代はいろいろ挑戦し、海外放浪もしたが、その中から自分は何が好きで何が嫌いか分かり、外交官の仕事に絞っていった」と説明した。

さらに日中、日韓関係の中で日本が置かれている状況を解説し、「いろいろ問題はありますが、日本は世界から好

平成26年6月17日(火) 茨城新聞に掲載

井上隼一さんプロフィール

- 1996年 常総学院高等学校卒業
- 2001年 東京大学法学部政治学科卒業
- 2002年 外務省入省 中東アフリカ局中東第二課配属
- 2004年 英国研修
- 2006年 英国ケンブリッジ大学修士課程(歴史学)修了
6月より在英国日本国大使館赴任
- 2008年 経済局政策課 課長補佐就任
経済局経済安全保障課 課長補佐就任
- 2010年 北米局北米第二課 課長補佐就任
- 2012年 総合外交政策局総務課 課長補佐就任・現在に至る

みなさん、こんにちは。
2008年4月から、朝日新聞社で記者をしています。現在の部署は大阪本社編集局スポーツ部の阪神タイガース担当。高校時代に野球部で二遊間を組んでいた坂克彦選手が、取材対象の一人になりました。

高校で部を引退すると同時に、野球から退きました。自分の実力では、大学で通用しないと思ったので。「何をめざそうか」とぼんやり考えていたときに、ふと思いついたのが新聞記者でした。

3年夏の甲子園1回戦。柳ヶ浦(大分)との試合で、2点二塁打を打った翌日の東京新聞の記事が、目に留まりました。見出しは「母へ、最高のプレゼント」。脳梗塞で倒れて障害が残っているにもかかわらず、応援に来てくれた僕の母親を取り上げたものでした。そこから、「魅力的な仕事だなあ」と思うようになりました。

入社以来、熊本で3年間、津で2年間の記者生活を送りました。様々な背景から引き起こされた事件や選挙、そして東日本大震災。「少しでもいいから、読者の心を動かしたい」と思いながら原稿を書き、市井に生きる人々と時に共感し、時に叱られ、時に励ましをもらいながら、濃い日々を過ごしてきました。

昨年4月から、本社所属の記者になりました。希望は社会部でも政治部でも、どこでも構わなかったのですが、スポーツ部に拾っていただいた形です。テレビなどを通じて、誰もが競技の結果を知っている中で、どうやって翌日の朝刊で原稿を読んでもらうか。毎日、考えています。

スポーツ部にいる今、大切にしている言葉があります。それは、今夏の第96回全国高校野球選手権大会の期間中に、会社の先輩から言われたものでした。

「お前の人生、野球がここまで連れてきてくれたんだろ?じゃあ、これからは井上なりの野球の面白さを原稿で読者に伝えていって、恩返しするのが役目じゃないのか。」

年次を重ね、「将来どんなことがしたいのか」に悩んでいた僕は、この言葉で吹っ切れました。しっかりと胸に刻み、今日もどこかの野球場にあります。

第19期生 井上翔太さん



2014年(平成26年)1月18日(土曜日)

言葉

置

糸斤

陸奥

快挙!! 高校二年生 村田 篤志さん

学生科学賞 入選

学生科学賞・高校の部

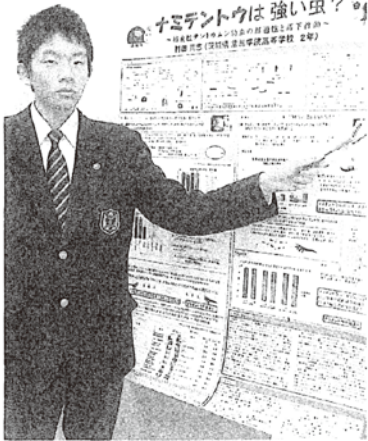
県内から3組入選

日本種の弱点を研究

入選1等「ナミテントウは強い虫？」

常総学院高2年

村田篤志さん 16



日本のナミテントウの弱点を研究した村田篤志さん

アブラムシを捕食するため米国の農場などに持ち込まれたナミテントウは爆発的に増え、在来のテントウムシを脅かす。日本ではそうした問題が起きていないことから、日本のナミテントウの弱点を突き止める実験を行った。

種類のテントウムシの幼虫に、9種類のアブラムシをエサとして与えて、ナミテントウはある3種類のアブラムシでは、成虫にならなかつたり、成虫にならなかつたり、なりにくいことが判明。外敵から逃げる能力も、他のテントウムシより低いことがわかった。

実験中はエサとなるアブラムシを取るだけで毎日約3時間を費やした。「勉強

と両立させるのは大変だが、結果が楽しみで続けられる。もっと上の賞を狙っていたが、わかりやすい実験結果が得られたので満足」と喜んだ。

在校生だより

〈高等学校〉

始動!!



Science Partnership Program

サイエンス・パートナーシップ・プログラム

独立行政法人科学技術振興機構 (JST)が推進するサイエンス・パートナーシップ・プログラム (SPP)に本校研究企画が初めて採択されました。JSTは科学の甲子園の主催者でもあり、科学の甲子園ともども活発な活動が期待されています。参加メンバーは中学生12名、高校生15名で11月の常友祭で研究内容を発表しました。

研究テーマは「有機資源循環および共生生物機能の理解と課題発見力の育成」でミミズコンポストによる食品残さのバイオ堆肥化について研究しています。連携先は茨城大学農学部で、大学の最新研究施設を利用していただき、また助言を受けながら研究を行っています。

6月に茨城大学農学部付属サイエンスフィールドセンター内の小松崎教授の研究室において、土壤中の成分分析や微生物観察・個体数の測定などを行いました。分析には高度な分析器を使用させていただき、生徒たちは説明を聞きながら挑戦していました。

参加者の一人は、「とても疲れたが、自分たちのコンポスト内の土壌の状態がわかり楽しかった。わからないことが数値としてわかることが、こんなに興奮し楽しいものだとは思わなかった。これからも定期的に土壌中の成分を測定し、データを蓄積していきたい」と話してくれました。

(理科教諭 大熊 宏宜 記)



ミミズコンポスト



微生物呼吸量より微生物数を測定しているところです。



土壌中のイオン濃度を測定しています。



説明を聞いています (英語です)



土壌生物を調べています。



土壌中の各イオン濃度を測定中です。



大学・科学館
NPO 法人等

連携して
講座を実施



学校・教育委員会等

応募・採択された講座に対して、JST が経費を支援します。

第3回 科学の甲子園

私立総合1位・全国総合5位

科学の甲子園全国大会初出場で快挙！

第3回科学の甲子園全国大会が、3月21日～23日、兵庫県立総合体育館において開催されました。茨城県代表として出場し選手宣誓も務めた本校メンバーが、47チーム中の総合5位、私立では1位に入賞しました。また、部門別表彰では、実技競技3「マグネシウムホバーレース」において第1位の栄冠を掴みました。



常総学院高、健闘5位
科学の甲子園 ホバー競技は1位

茨城県代表の高橋 浩太選手が、第3回科学の甲子園全国大会で、ホバーレース部門で優勝し、科学の甲子園全国大会で初出場を果たした。常総学院高等学校からは、高橋選手と、科学の甲子園全国大会で初出場を果たした。常総学院高等学校からは、高橋選手と、科学の甲子園全国大会で初出場を果たした。

科学の甲子園開幕

第3回科学の甲子園全国大会が、3月21日、兵庫県立総合体育館において開幕した。常総学院高等学校からは、高橋浩太選手と、科学の甲子園全国大会で初出場を果たした。

| 競技・成績 | 学校名 |
|--|----------------|
| 総合成績 優勝 | 三重県立伊勢高等学校チーム |
| 総合成績 第2位 | 岐阜県立岐阜高等学校チーム |
| 総合成績 第3位 | 滋賀県立膳所高等学校チーム |
| 総合成績 第4位 | 愛知県立一宮高等学校チーム |
| 総合成績 第5位 | ○常総学院高等学校チーム |
| 総合成績 第6位 | ○大阪星光学院高等学校チーム |
| 総合成績 第7位 | ○灘高等学校チーム |
| 総合成績 第8位 | ○開成高等学校チーム |
| 総合成績 第9位 | 宮崎県立宮崎西高等学校チーム |
| 総合成績 第10位 | 栃木県立宇都宮高等学校チーム |
| 実技競技③ 第1位 SHIMADZU賞 (マグネシウムホバーレース) | ○常総学院高等学校チーム |

「第3回 科学の甲子園全国大会」成績一覧

○は私立高校を表す。

茨城新聞より

全国大会に出場して

県大会に出場してからの約三ヶ月間、先生方のご指導のもと全国大会に向けて、事前公開競技のホバークラフト製作や生物実験を中心に技術向上をはかり、データのとり方を学びました。

当日は筆記競技で難問に手こずりましたが、その後の実技競技では各メンバーが得意分野で実力を出しきることができました。三種目の実技競技のうち、生物競技ではアミノ酸を同定し、物理競技では太陽光パネルの出力を調べたり、ホバークラフトを走らせたりしました。ホバークラフトレースでは、決勝レースに進んだ八機の中で、自チームが第一位でした。機体が加速していきトップでゴールするさまは感動的で、とても興奮しました。

大会で得た経験や、練習で試行錯誤したことはいい思い出です。また、ともに戦った他校の方々と交流し新たな人間関係を築くことができ、彼らと受験を乗り越えて再会することを約束しました。



部活動 活動報告

ソフトボール部

県大会初優勝 3年7組 笹原 嶺

我々ソフトボール部は、柳下先生、佐藤先生、張替先生のご指導のもと、毎日の練習に励み、創部以来初めて県大会で優勝し、関東大会に出場しました。

県大会決勝戦の相手は、十六大会連続優勝の実績をもつ下妻二高でしたが、延長線にもつれこむ大接戦を制し、初優勝の快挙を達成することができました。

ソフトボール同好会から発足したソフトボール部が、こうした結果を残すことができたのは、我々を支えてくださる多くの方々の存在があったからです。練習場所を貸して頂いた硬式野球部、ラグビー部、サッカー部、指導してくださった外部コーチや社会人の方々をはじめとする多くの方々に、心から感謝しています。ありがとうございました。

関東大会では、初戦敗退という結果でしたが、その悔しさをばねにしてこれからも全力で努力していきますので、変わらぬ応援をよろしくお願いいたします。

剣道部

関東大会出場

3年2組 飯泉 佳菜子

私たちは、宮田先生のご指導のもと二年ぶり三度目の関東大会団体出場をすることができました。

一年・二年と出場を逃がし三年になったら必ず出場したいと思い、チームの環境づくりや自分達の役割をもう一度見直しました。少しずつチームらしくなり以前より負けなくなりました。関東予選を突破し、関東大会に出場するという事で今まで以上に気を張っていいこうと練習に励みました。

大会当日になると、県大会を越えた緊張感と空気に圧倒されました。全員で挑戦する気持ちで大切にしようと思つて臨むものの、結果はリーグ敗退でした。思っている以上に関東大会で勝つという事は甘くありませんでした。しかし、関東大会に出場したことで今までの自分達にはないものを持つている人がたくさんいて勉強になりました。勝てなかつた反省を生かし、来年ももう一度関東大会に出場してもらいたいと思います。



駅伝部

関東での体験を全国へ

2年7組 白川 恵理菜

「このスピードが全国クラスの選手の走りなのか」と実感した関東高等学校陸上競技大会3000m。スタートラインに立った時、雑誌や写真でおなじみのユニホームをつけた選手が私の近くにいた。緊張がおさまらな

いうちに号砲がなった。1周目1分40秒(400m)で入り2周、3周と進む中、1000mも2000mも自己ベストを更新して通過した。勝負というより必死に体を動かしていたというのが本音だった。

中学校ではハンドボールをやっていた私は陸上競技は高校から始めました。負けん気の強さだけでここまで来た感じですが、先生から「冷静に走れ」、「上体をもっと強化しよう」とよく言われます。もつと力をつけて、あの関東大会で感じた悔しさを力に変えて今は全国大会で走ってみたいと考えています。

自分の力が順位や数字となつて表わされる陸上競技は厳しい面もありますが、楽しみでもあります。今までも多くの人に支えられ競技を続けられたことに感謝し今後も頑張りま



水泳部

関東大会・全国総体出場

3年2組 飯田 佳祐

私たち水泳部は、7月23日から25日にかけて千葉県習志野市で行われた関東大会に出場しました。この大会は次の全国大会インターハイに繋がる大会で、今年は、去年に比

べ部員の人数が増え、チーム力を生かした応援の中、一人一人が全力を出して泳ぎきることができ、二名の仲間が全国大会への切符を掴み取ることが出来ました。

しかし、わずか数秒で全国大会へ出場することが出来ない種目もあり、涙を呑む仲間もいて、部長として責任を感じ悔しい思いもしました。

全国大会へ出場した二名は、自己ベストを更新するという次を見据えた素晴らしい泳ぎを見せてくれました。

来年の夏に向けてやれることはまだまだたくさんあります。結果を変えるのは自分次第。応援して下さる人々に良い報告ができるように、水泳部は日々努力していきますので、これからも応援よろしく願います。



男子バドミントン部

全国大会で学ぶ

3年3組 林 翔太

私たち男子バドミントン部は、全国ベスト4を目標に、日々練習に励んできました。毎年、目標の結果には届かず、悔しい思いをしてきました。そうならないためにも、絶対勝つという気持ちがありました。

全国大会当日、一回戦をストレート勝ちで勢いにのれた感じがしました。でも、二回戦で接戦を勝つことが出来ませんでした。最後の点数の取り方が、相手の方が一枚上手でした。三年生にとつての最後の集大成。みんな悔いの残る大会になってしまいました。でも、その半面多くのことを学べました。とくに、気持ちの面では大きく成長することが出来ました。

三年生が引退して新チームなった今、しっかりと練習して、多くの結果を残してほしいです。

これからも、男子バドミントン部の応援をよろしくお願いします。



パワーリフティング部

3年 許 英萬

8月3日に埼玉県さいたま市に於いて、第32回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会が行われました。私も83kg級に出場しましたが、残念ながら試合中に怪我をしてしまい失格してしまいました。私は中等部よりこの部活に入り5年間活動してきましたが、最後の大会でこのような結果に終わってしまったことがとても残念で仕方ありません。しかしながら、入院中に多くの友人などこの部活の関係者が多数お見舞いに来て下さり、今までこの競技に携われたことに感謝しております。この悔しい経験を今後の人生に役立てていきたいと思っています。

現在、私は部を引退し受験勉強に励んでいます。引退後もこの部で培った集中力で来年の春には桜を咲かすことが出来るよう日々努力していきます。先輩方が築き上げた常総パワ―の名に恥じないよう、残り少ない学校生活を充実したものにしていきたいと思えます。



ラグビー部

関東大会

3年3組 泉 伶音

私たちラグビー部は昨年果たすことのできなかった、関東大会出場を今年の春の最大の目標として取り組んできました。今年は例年に比べ茨城の出場枠が多く、なんと4位

に滑りこみ二年ぶりに関東大会出場を決めました。

関東大会本戦では、Fブロックでのプロックで埼玉県三位の正智深谷高校相手に前半での失点かひびき後半追い上げしましたが惜敗しました。次の関東大会最後の試合となる千葉県三位の市立船橋高校との試合ではチーム全員が初戦から気持ちを切り替え、勝敗よりもこの舞台を楽しもうという決意で試合に臨みました。結果は先制点こそ許したものの、チーム一体となった攻撃で得点を重ね、関東大会最後の試合を勝利で飾ることができました。

次の目標は冬の全国大会出場です。目標を達成できるようこの夏でしっかりと準備し、花園へ行けるように努めていきたいです。



硬式野球部

第67回秋季関東地区高等学校野球大会

10月25日(土)から千葉県にて行われた第67回秋季関東地区高等学校野球大会に出場してまいりました。この場をお借りして大会での結果報告をさせていただきますと思います。

第一戦目、27日(月)の佐野日大高校戦では2-1で勝利、第2戦目28日(火)準々決勝戦

での平塚高校戦では5-3で勝利を収めることができました。第3戦目29日(水)準決勝での木更津総合高校戦では力及ばず4-3で敗れ、結果は関東大会ベスト4となりました。夏の大会が終了して以降、この関東大会での上位進出を一つの目標として練習をしてまいりました。ベスト4という結果を掴めたのも、日頃からご支援をいただいている方々、時には球場まで足を運び応援をしてくださる方々など、多くの方々のご協力あつてのものだと感じています。

これからも春の選抜、夏の甲子園出場、さらには全国制覇を目指し野球部一同、日々精進してまいります。今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願いいたします。



県高校総体

常総学院女子バレーボール部が念願の初優勝！！

インターハイ出場決定！！

2014年(平成26年)6月23日 月曜日

茨城新聞

ハイライト

拾って、つないで、しっかり決めた。バレーボール女子決勝。常総学院は村井彩菜(2年)のスパイクで初優勝が決まると、抱き合っただけ喜びを爆発させた。7連覇を狙った土浦日大を相手に逆転勝ち。宮本彩映主将(3年)は「実感が湧かないけど、うれしい」と充実感を漂わせた。

第1セットを落としたが、第2セットから持ち前のレシーブ力を発揮した。「絶対に勝とう。相手より粘ろう」と声を掛け合い、強打に耐えてボールをつなぐと、徐々に流れが変わった。相手にミスが出始め、中盤に引き離してこのセットを奪取。第3セットは最大5点差をつけられながら、追い付き逆転した。

「自分が上げたら、スパイクが決めてくれる」というリベロの酒井美優(3年)ら全員で拾い続けたボールを相手コートに突き刺

常総 歓喜初V

バレー女子

粘りでつなぎ逆転



し、信頼に憑いたのは村井。チーム最多の23得点を挙げたエースは「上がってきたボールを思い切り打つ」と、高さのあるフロントに臆することなく両サイドから得点を重ねた。

酒井は「大会はお祭りのようなもの」と言う。楽しい本でも多くスパイクを決め、みんな楽しんでほしい状況でも互いを支え合った。その気持ちは全国の

舞台でも同じ。村井は「1本でも多くスパイクを決め、みんな楽しんでほしい」と本番が待ち遠しい様子だった。

〈バレーボール女子決勝〉土浦日大ー常総学院 初優勝を決め喜ぶ常総学院の選手＝ひたちなか市総合体育館

部活動活動実績

硬式野球部

第6回春季関東地区高等学校野球大会茨城県大会

優勝

第66回春季関東地区高等学校野球大会出場

第96回全国高等学校野球選手権大会茨城県大会

ベスト4

男子バドミントン部

関東高等学校バドミントン大会

茨城県予選会

団体優勝(29年連続29回目出場)

全国高等学校バドミントン大会茨城県南予選

ダブルス

ベスト16

【寺生 秋成】

【鍋島 光次】

シングルス

ベスト16

2回戦

【木内 崇人】

【柴沼 直樹】

シングルス

ベスト8

【武藤 響】

【山添 起瑠】

【阿部つかさ】

【阿部つかさ】

【高久 友也】

【高久 友也】

【中島 健吾】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

【星野慎太郎】

シングルス

ベスト16

【武藤 響】

ダブルス

準優勝

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

【岡田 幸樹】

シングルス

1回戦

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

【山添 起瑠】

シングルス

ベスト8

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

【飯岡 優美】

シングルス

1回戦

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

【飯村梨衣子】

ダブルス 1回戦【友水 陽香】
シングル 2回戦【渡辺 綾花】
ダブルス 2回戦【渡辺 真名】
JOCジュニアオリンピックカップ
第33回全日本ジュニアバドミントン選手権大会茨城県予選

ダブルス 優勝【内田 彩佳】
シングル 優勝【内田 彩佳】
ダブルス ベスト4【内田 陽香】
ダブルス ベスト8【福田 芽唯】
ダブルス 準優勝

ダブルス ベスト4【渡辺 真名】
ダブルス ベスト8【飯岡 優美】
ダブルス ベスト8【酒井 虹穂】
ダブルス ベスト8【小島 寧来】
シングル ベスト8【森 咲和佳】
茨城県南地区バドミントン夏季大会

ダブルス 3位
シングル 準優勝【福田 芽唯】
シングル 優勝【飯岡 優美】
ダブルス ベスト32【小島 寧来】
ダブルス 3位【森 咲和佳】
国民体育大会

関東ブロック大会バドミントン競技
団体ベスト4(長崎国体出場)
【上曾 夏美】
【飯村 梨衣子】
【友水 陽香】
第19回全国私立高等学校選抜バドミントン大会
団体29位

第52回関東総合バドミントン選手権大会
ダブルス ベスト16
シングル ベスト16【飯村 梨衣子】
ダブルス 2回戦【小野 日向子】
ダブルス ベスト16【友水 陽香】
シングル 1回戦【渡辺 綾花】
ダブルス 2回戦【渡辺 真名】
JOCジュニアオリンピックカップ

第33回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
ダブルス 1回戦【内田 彩佳】
ダブルス 1回戦【友水 陽香】
茨城県高等学校バドミントン秋季大会
ダブルス 優勝【内田 彩佳】
ダブルス 優勝【友水 陽香】
ダブルス 準優勝【小野 日向子】
ダブルス 準優勝【渡辺 真名】
シングル 優勝【森 咲和佳】

剣道部

県南春季剣道大会

女子団体優勝Aチーム
女子団体準優勝Bチーム
男子団体ベスト8
個人 3位【石塚 周】
個人 ベスト8【直井 海香】
関東高等学校剣道大会予選会
女子団体4位関東出場
個人 ベスト8【佐藤 希】
新潟県上越市主催謙信公杯剣道大会
女子団体準優勝

秋季県南学年別個人剣道大会
2年生個人 優勝【佐藤 希】
1年生個人 優勝【中澤 亜美】
2年生個人 ベスト8【高橋 緋奈】
2年生個人 ベスト8【石塚 周】

駅伝部

第67回県南地区高等学校対抗陸上競技大会
3000m障害 4位【塚田 淳】
3000m障害 3位【久松 駿稀】
5000m 優勝【宮 隼】
800m 3位
1500m 3位【高岡 隆太郎】
3000m障害 8位【落合 海斗】
5000m 8位【斎藤 泰雅】
5000m競歩 2位【多比良 千穂】
1500m 2位
3000m 優勝【白川 恵理菜】
第67回茨城県高等学校
陸上競技対抗選手権大会

陸上競技対抗選手権大会
1500m 8位入賞【白川 恵理菜】
3000m 6位入賞【白川 恵理菜】
※白川は3000mで関東大会出場
第67回関東高等学校陸上選手権大会
3000m出場 【白川 恵理菜】
第69回茨城県陸上競技選手権大会
男子10000m 6位入賞【星野 純希】
女子5000m競歩3位入賞【多比良 千穂】
※星野・多比良は関東選手権大会に出場
第43回茨城県高等学校
陸上競技学年別選手権大会

男子5000m 優勝
大会新記録【宮 隼】
5000m 4位【佐藤 柊耶】
男子800m 6位【高岡 隆太郎】
女子5000m競歩 3位【多比良 千穂】
3000m 8位【白川 恵理菜】
第87回関東陸上競技選手権大会
10000m
5000m競歩 【星野 純希】
【多比良 千穂】
第49回県南地区高等学校対抗陸上競技新人大会

男子5000m 2位【斎藤 泰雅】
男子5000m 7位【落合 海斗】
男子3000m障害 優勝【落合 海斗】
男子3000m障害 5位【新妻 悠】
男子5000m 4位【佐藤 柊耶】
男子5000m 優勝【宮 隼】
男子5000m 5位【星野 純希】
女子1500m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 9位【上井 里彩】
女子3000m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 【上井 里彩】

第55回茨城県高等学校
対抗陸上競技新人大会
男子5000m 【斎藤 泰雅】
男子5000m 【落合 海斗】
男子3000m障害 【落合 海斗】
男子3000m障害 【新妻 悠】
女子3000m 3位【白川 恵理菜】
女子3000m 【上井 里彩】
※斎藤・白川は関東高等学校陸上競技選抜新人大会に出場

陸上部

第67回県南地区高等学校
対抗陸上競技大会
100H 5位【皆川 渚】
第37回茨城県高校春季水泳競技大会
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 3位【横谷 和折】
200mバタフライ 1位大会新記録
100mバタフライ 2位【田所 諒馬】
200mバタフライ 4位【市村 悠紀】
200m平泳ぎ 3位
100m平泳ぎ 5位【佐藤 大空】
100m・200m自由形 4位【木村 優介】
50m・100m背泳ぎ 5位【上原 広暉】
50mバタフライ 5位
100mバタフライ 6位【飯岡 千尋】
100m自由形 3位【出澤 美和】
200m個人メドレー 2位【鈴木 健太】
50m自由形 7位【飯田 海】
100m・200m背泳ぎ 7位【飯田 佳祐】
50m 7位
100mバタフライ 100mバタフライ 1位
100mバタフライ 3位【飯田 美仁】
100mバタフライ 3位【白石 茉耶】
第50回茨城県民総合体育大会
水泳競技大会
男子総合優勝

水泳部

女子5000m 2位
男子5000m 優勝【落合 海斗】
男子3000m障害 5位【新妻 悠】
男子5000m 4位【佐藤 柊耶】
男子5000m 優勝【宮 隼】
女子1500m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 9位【上井 里彩】
女子3000m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 【上井 里彩】

女子5000m 2位
男子5000m 優勝【落合 海斗】
男子3000m障害 5位【新妻 悠】
男子5000m 4位【佐藤 柊耶】
男子5000m 優勝【宮 隼】
女子1500m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 9位【上井 里彩】
女子3000m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 【上井 里彩】

女子5000m 2位
男子5000m 優勝【落合 海斗】
男子3000m障害 5位【新妻 悠】
男子5000m 4位【佐藤 柊耶】
男子5000m 優勝【宮 隼】
女子1500m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 9位【上井 里彩】
女子3000m 優勝【白川 恵理菜】
女子3000m 【上井 里彩】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】

女子総合第2位
50m自由形 1位
100m自由形 2位【平田 萌々恵】
200mバタフライ 2位
200m自由形 4位【横谷 和折】
800m自由形 4位【田所 諒馬】
200mバタフライ 1位
100mバタフライ 2位【市村 悠紀】
1500m自由形 7位
100m平泳ぎ 4位【佐藤 大空】
100m自由形 5位【木村 優介】
400m個人メドレー 5位【上原 広暉】
50m自由形 5位
100m自由形 7位【野口 将吾】
100mバタフライ 7位【飯岡 千尋】
100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 7位【飯泉 里平】
100m背泳ぎ 8位【鈴木 健太】
1500m自由形 3位【三原 海】
400m自由形 3位
1000m・200mバタフライ4位
200mバタフライ 5位【白石 茉耶】
第64回関東高校水泳競技大会県予選会
男子総合優勝
女子2位
100m背泳ぎ 1位
1500m自由形 3位
400m自由形 6位
1000m自由形 6位
100m・200mバタフライ4位
200m平泳ぎ 7位
100m平泳ぎ 8位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
100m平泳ぎ 1位
400m個人メドレー 3位
200m個人メドレー 6位
100mバタフライ 1位
50m自由形 1位
50m自由形 3位
200m・400m自由形2位
200m個人メドレー 8位
関東出場【又來 光】



進路指導室近況報告

進路指導室長 菅谷 博之

2010～2014年度 大学入試結果総括

第一志望合格主義で 初志貫徹を!

今年から特に、東大をはじめとする難関大学と医学部に限り、現役合格に拘らず、第一志望合格主義を採り、受験に挑戦させています。新たな指導方針のもと、今春も484名が本校を巣立ち、四年制大学へ延べ1013名が合格し、現役進学率88.8パーセントを達成いたしました。これは、昨年とほぼ同様の進学率でした。

一方、過去5年の合格実績を見ると(別表2参照)、相変わらず地元の国公立大学への人気が根強く、茨城大学122名、筑波大学60名が合格しています。防衛大学校は伝統的に合格者が多く、94名が合格しています。さらに、茨城県の医師不足解消の一助とすべく4年前に開始した医学部に特化した進路対策も功を奏し、医学部医学科に51名の合格者を出すことができました。私立大学は、早慶上智が120名、GTIMARCHでは、733名の合格者を出しています。

近年の入試で特徴的な傾向としては、特に医療看護系の志望者が増えたことが挙げられます。今年度だけでも医療看護系の延べ合格者数は101名になります。特に、今春には看護学部の新設が複数の大学で見られ、看護学部希望者は年々増加しています。一方、歯学部は、志願者の減少傾向が見られます。歯科医院が都市部で飽和状態になってしまっているとの現状もあります。

が、地方ではまたまた歯科医院が不足している地域もあるようです。生徒たちへは、世の中のニーズを踏まえ、悔いのない進路選択ができるよう、各自が視野を広げる努力をするよう助言しております。また、我々も、世の中の情勢を把握し、最新の情報発信に努めています。

進路講演会の一層の充実を!

これまで、医学部勉強会として毎月講演会を実施してきました。今年度から文系にも範囲を広げ、毎月1回講演会を実施しております。(別表1参照)

特に、6月に実施した本校第11期卒の外務省勤務の井上準一氏によるご講演は、先輩の話を聴ける貴重な機会でした。講演会後に希望者と座談会も実施し、大盛況の内に終了することができました。

今後、各界でご活躍の卒業生の方々にも積極的にご講演をお願いしていきたいと思っております。その節はご協力の程よろしくお願いいたします。

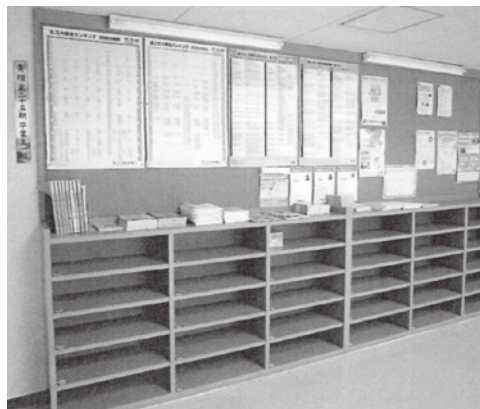
合格体験談集

『桜咲く2014 in 常総』

第11号を刊行

今年も7月1日に合格体験談集『桜咲く2014 in 常総』第11号を無事発行することができました。年々原稿寄稿者も増え、今年は編集担当者が掲載する人選に苦労するほどでした。原稿が掲載された卒業生の方々は直接郵送させていたいただきました。配布は本校中学校、高校の全生徒にしております。

配布後、進路指導部には生徒のみならず、保護者の方々からの感想も多く、編集担当者一同は、大いに励みとさせていただいております。



平成26年度 進路講演会 年間予定表 (別表1)

| 開催回数 | 日程 | 対象 | 関係学部 | 講師 | 題目 |
|------|------------------|-------|---------|---|----------------------|
| 1 | 6月11日 16:00～ | 高3 | 全学部 | 新宿セミナー教務主任 小林先生 | 推進OA入試直前対策講演会 |
| 2 | 6月16日 14:30～ | 文系 | 人文系統 | 外務省総合外交政策局 総務課 課長補佐 井上準一氏 (本校卒業生) | 外務省高校講座 |
| 3 | 6月23日 16:15～ | 理系 | 医学 | 東京医科大学 茨城医療センター 柳生 久永 先生 | 医師を志す人たちへ |
| 4 | 9月29日 16:15～ | 文系 理系 | 全学部 | 牛久支部 本校中学保護者 中村 利晃 氏 | 福島ボランティアの体験を通して学んだこと |
| 5 | 10月27日 16:15～ | 文系 | 経済・経営系統 | 水戸税務署 税務広報官 朝日 誠 氏 | 租税教室 「税金は何に使われているの？」 |
| 6 | 11月17日 16:15～ | 理系 | 医学 | 河合塾松戸校 校長 渡辺 郁夫氏 | 最新の医学部の入試情報 |
| 7 | 12月15日 16:15～ | 文系 | 経済・経営系統 | 筑波銀行 兼 筑波総研 チーフエコノミスト 渋谷 暎一郎 氏 | 銀行の役割とやさしい金融のお話 |
| 8 | 1月26日 16:15～ | 文系 | 法学系統 | 水戸地検より招聘予定 | 検察を知る (仮題) |
| 9 | 2月23日 16:15～ | 文系 | 経済・経営系統 | 野村證券つくば支店長 市口 義正 氏 | 証券会社と株式投資 (仮題) |

常総学院高等学校 四年制大学別合格数

2014年5月1日現在 (別表2)

■国公立大学

Table with 7 columns: 大学名, 5ヶ年, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度, 2014年度. Lists various national/public universities and their admission numbers over time.

■大学校

Table with 7 columns: 大学名, 5ヶ年, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度, 2014年度. Lists university schools and their admission numbers.

■医学部医学科 【国公立】

Table with 7 columns: 大学名, 5ヶ年, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度, 2014年度. Lists medical departments in national/public universities.

【私立】

Table with 7 columns: 大学名, 5ヶ年, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度, 2014年度. Lists private medical departments.

■私立大学

Table with 7 columns: 大学名, 5ヶ年, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度, 2014年度. Lists private universities and their admission numbers.

Table with 7 columns: 大学名, 5ヶ年, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度, 2014年度. Lists various private universities and their admission numbers.

Summary table for '関西学院' and 'その他' (Others) with columns for years and counts.

Summary table for '(医学部医学科合計)' (Total for Medical Departments) with sub-totals for national/public and private.

Summary table for '早慶上智ICU計' and 'GTMARCH計'.

Summary table for '(四年制大学合計)' (Total for 4-year universities) with sub-totals for national/public, university schools, private, and total.



再録

平成3年度

「進学指導におけるゼミ学習の役割」

常総歴史館

本校の教科指導の特色の一つに、ゼミ学習というものがある。このゼミ学習は開校初年度から行われてきたが、現在のような少人数制のゼミ学習が本格的に始まったのは、進学コースと特進コースというコース制が導入された開校5年目の昭和62年のことである。開校当時は1校時45分で1時限授業が行われ、放課後に生徒全員に対して週に1・2回程度、ゼミと呼ぶ教科指導を行っていた。開校5年目に、1校時を50分授業に変え、しかも特進コースには平日7時限の授業を行うようになった。この7時限授業というのは、他校に比べて毎日、補修を1時限していることに匹敵し、前年度まで行っていたゼミを格段に進展させたものといえる。本来ならば、これで受験指導は十分なところであるが、本校ではさらに、個別指導を徹底させるという目的で生徒の所属コース内に、生徒一人一人の進路に合わせた選択制のゼミ講座を開校し、現在のゼミ学習の基盤ができあがった。ゼミの内容は、数学を例にとると、問題演習を中心に授業の補習を行ってきており、これは現在でも変わらない。当時の数学の授業は習熟度別に編成され、試験ごとに生徒の習熟度に合わせて授業クラスが再編成され、より適切な授業が展開された。それに呼応して、ゼミも習熟度別の少人数編成で実施された。

ゼミ指導は授業の延長上にあり授業の進度に合わせて行われ、受講生も問題が解けるまで引き下がらないという努力の結果、質問も多く非常に活発なゼミが展開された。これらの成果は本校の進学状況に大きな変化をもたらした。この少人数制のゼミ学習を受けた生徒達が卒業した昭和63年度の進学状況を見ると、国公立四年制大学に29名の現役合格者を出し、これは前年の3名に比べて目を見張るものであった。私立大学も含めると合計216名の現役合格者を出し、前年131名に対して2倍の合格者数となった。もともとゼミ学習は、年々増加する進学希望者の要望に応えるためにあり、放課後、校内で

ミを開設することによって予備校や塾に通うことによる生徒や保護者の負担を軽減することにもつながるとして、日々の授業を支えるばかりではなく、現役で合格できるようにという目的を持って計画、実行されてきたものでもある。

ゼミに積極的に参加した卒業生に聞いてみると、『7時限目が終わってからのゼミは本当にきつかった。90分のゼミが終ると、夕方6時30分、少し質問をして遅くなると7時を回ってしまう。それでも、先生方は、時間を気にせず質問につき合ってくれた。きつかったけど、今になって思うと本気で勉強したと思う』と答えてくれる。確かに生徒もきつかったと思うが、積極的に質問してくる生徒に対応していると、いつの間にか時間が過ぎてしまい、生徒の帰り道を心配することも多かった。同じ問題を一人の生徒に7回説明したこともあり、いくら説明しても納得してくれず、あの手この手で例えを変えながらやっと納得してくれたときはホッとしたものである。ゼミ学習では教師が生徒に教えるばかりではなく、教師も教え方を学ぶよい機会ともなり、生徒との信頼関係も深まったようである。

このように、本校のゼミ学習は授業と組み合わせ、車の両輪の関係にあるといってもよい。日々の授業の進捗をもとに展開されるゼミ学習は、授業そのものの理解を助けるという効果をもたらすと共に、進学指導の根幹をもなしてきた。それは、本校の昨今の進学状況を見れば明らかのように、単に合格者数の増加というばかりではなく、東大、早慶をはじめとした難関大学への合格者の増加にも現れている。

開校10年、ゼミ学習が本格化して7年目となり、800名に近い合格者は決して一夜にしてできあがったものではない。ゼミ指導をゼロから出発させ今日まで発展させてきた諸兄の努力が、今実りつつある。

(布施谷 正人 記)



平成3年度 ゼミ室での授業風景



平成3年度 ゼミ風景



平成3年度 ゼミ風景



東京大学他現役進学者より先輩の話を聴く会



平成3年度 冬期ゼミ合宿



平成3年度 第1回教員海外研修
(ヨーロッパ5ヶ国視察)



平成3年 度校内英語スピーチコンテスト



エキスポ'85杯英語スピーチコンテスト中央大会出場

在校生だより



東京大空襲を研究して

3年2組 土屋 美佳子

私は東京大空襲について研究しました。体験者の方からお話を聞き、授業では学べないことをたくさん学び、多くの人に伝えていきたいと思いました。そして私は今回、最優秀研究者賞という素晴らしい賞を受賞させてもらい、全校生徒の前で発表することが出来ました。本番では緊張のあまり思う様に声が出ず、くやしい思いもしました。ですが、この思いを胸にこれからの学校生活や行事に生かしていきたいと思いました。



奈良・京都研修旅行

2年1組 武田 淳宏

「国内研修を終えて、たくさんのお寺や仏像、京都の街並み、ガイドさん、方言など、数えきれない記憶が残っているが、行く前には考えてもいなかった光景を目にした。それは、外国人観光客の多さだ。金閣寺にいたっては、日本人よりも多かったと思う。」

僕にとっては喜ばしい光景だった。日本は他の国に比べて、つまらない国だなあと思ったこともよくあったが、こうして外国の人が笑顔で熱心に日本の歴史を見に来てくれるととてもうれしい。このようなことをきっかけに、日本がもっと世界から愛される国になるといいと思った。そのためには、まだまだ皆さんの可能性を持つ僕たちが日本を背負えるようにならなくては、と思った。」



福島県宿泊学習

1年4組 柳澤 宏瑛

僕が宿泊学習で一番思い出に残ったことは、アサギマダラの観察です。

僕は、虫捕りをするのが初めてだったので、蝶を捕まえられるかどうか心配でしたが、何とか一匹だけ捕まえることができました。しかし、マーキングしようと思いついた瞬間、逃げられて

しまったのです。悔しい思いはしましたが、アサギマダラの生態にとっても興味を持ちました。



■平成25年度 常総学院高等学校同窓会決算書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日まで)

| ▼収入の部 (単位:円) | | | | |
|--------------|------------|------------|---------|-----------------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
| 1.会費 | 7,790,000 | 8,656,000 | 866,000 | |
| 卒業生会費 | 450,000 | 741,000 | 291,000 | 終身会費30名、会員57名 |
| 在校生会費 | 7,340,000 | 7,915,000 | 575,000 | 終身会費102名、会員555名 |
| 2.雑収入 | 15,000 | 12,228 | △2,772 | 受取利息 |
| 3.前年度繰越金 | 57,647,980 | 57,647,980 | 0 | |
| 収入の部計 | 65,452,980 | 66,316,208 | 863,228 | |

| ▼支出の部 (単位:円) | | | | |
|--------------|------------|------------|----------|---------------------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
| 1.消耗品費 | 100,000 | 54,950 | △45,050 | 事務用品等 |
| 2.通信運搬費 | 900,000 | 770,139 | △129,861 | 会報送料 |
| 3.印刷製本費 | 1,600,000 | 1,809,185 | 209,185 | 会報印刷代等 |
| 4.会議費 | 200,000 | 75,663 | △124,337 | 役員会時飲み物代等 |
| 5.旅費交通費 | 300,000 | 208,560 | △91,440 | 役員会時旅費 |
| 6.部活動補助費 | 3,000,000 | 3,240,000 | 240,000 | 男女バドミントン部 硬式野球部等 |
| 7.記念品費 | 650,000 | 560,250 | △89,750 | コサージュ、生徒手帳 |
| 8.広報費 | 110,000 | 52,500 | △57,500 | 新聞広告料 |
| 9.行事費 | 300,000 | 542,719 | 242,719 | 常友祭テント代等 |
| 10.雑費 | 200,000 | 165,635 | △34,365 | 振込手数料等 |
| 11.次年度繰越金 | 58,092,980 | 58,836,607 | 743,627 | |
| 支出の部計 | 65,452,980 | 66,316,208 | 863,228 | |

上記の決算書について諸帳簿関係証書を監査した結果、適正かつ正確であることを証明致します。
平成26年5月10日 会計監査 久保田 美幸 前川 信史

平成25年度決算について

- 収入の部
当初の予算額より卒業生終身会費の納入が増えた為、会費収入が増となりました。
- 支出の部
女子バレーボール部・ソフトボール部・男子バドミントン部・女子バドミントン部・ラグビー部・剣道部(個人)・水泳部・チアリーディング部・男子駅伝部・パワーリフティング部・硬式野球部及び第95回全国高等学校野球選手権大会出場補助・吹奏楽部定期演奏会補助・卒業生・新入生への記念品等の事業活動を行いました。その他、支出は極力経費の節減に努めました。

■平成26年度 常総学院高等学校同窓会予算書(案)
(平成26年4月1日～平成27年3月31日まで)

| ▼収入の部 (単位:円) | | | | |
|--------------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 備考 |
| 1.会費 | 8,660,000 | 7,790,000 | 870,000 | |
| 卒業生会費 | 450,000 | 450,000 | 0 | 終身会費10名、会員50名 |
| 在校生会費 | 8,210,000 | 7,340,000 | 870,000 | 終身会費120名、会員521名 |
| 2.雑収入 | 12,000 | 15,000 | △3,000 | 受取利息 |
| 3.前年度繰越金 | 58,836,607 | 57,647,980 | 1,188,627 | |
| 収入の部計 | 67,508,607 | 65,452,980 | 2,055,627 | |

| ▼支出の部 (単位:円) | | | | |
|--------------|------------|------------|-----------|---------------------|
| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 備考 |
| 1.消耗品費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 事務用品等 |
| 2.通信運搬費 | 900,000 | 900,000 | 0 | 会報送料 |
| 3.印刷製本費 | 1,850,000 | 1,600,000 | 250,000 | 会報印刷代等 |
| 4.会議費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 役員会時飲み物代等 |
| 5.旅費交通費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 役員会時旅費 |
| 6.部活動補助費 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 硬式野球部 男女バドミントン部等 |
| 7.記念品費 | 690,000 | 650,000 | 40,000 | コサージュ、生徒手帳 |
| 8.広報費 | 110,000 | 110,000 | 0 | 新聞広告料 |
| 9.行事費 | 350,000 | 300,000 | 50,000 | 常友祭テント代等 |
| 10.雑費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 振込手数料等 |
| 11.次年度繰越金 | 59,808,607 | 58,092,980 | 1,715,627 | |
| 支出の部計 | 67,508,607 | 65,452,980 | 2,055,627 | |

平成26年度予算について

平成26年度予算は、平成26年度の事業計画と平成25年度の収支実績を勘案して編成いたしました。

- 収入の部
卒業生の入会会、会費521名、会員年会費60名を収納予定として計上いたしました。
- 支出の部
本年度の事業計画は、①第14号同窓会会報の発行②会員への同窓会会報郵送③各部活動への補助④卒業生・新入生への記念品が主なものである。これに基づき予算を編成いたしました。

平成25年度常総学院高等学校同窓会 会務分担表

| 担当 | 本部役員 | 学校 | 主な業務 | 担当 | 本部役員 | 学校 | 主な業務 | |
|----|--------------|--|---|--------------------------|--------------|--|----------------------------------|----------|
| 総務 | 副会長 泉 琢磨 | 岡田 慎一郎 林 克俊 切替 隆喜 中原 僚汰 山田 拓也 | 飯塚 康弘 仲野谷 宗治 櫻井 堯史 | 会議の招集・運営・進行 同窓会の統括的業務 | 副会長 伊沢 勝徳 | 平井 修司 神野 智也 上原 拓也 根岸 里江 小倉 明子 田村 江梨佳 深澤 武優 乙高 一正 永井 川泰 妹川 仁美 島倉 明代 野間口 百昭 | 田中 光惠 青柳 隆雄 片山 章 布施谷 正人 | 事務局と相互連携 |
| | 副会長 坂田 英一 | | | | | | | |
| 経理 | 副会長 伊藤 哲也 | 内田 悠佑 塚本 勝則 櫻井 勝 猪瀬 高美 平澤 雅義 | 磯部 和弘 祐源 愛 大海 聖賀 | 予算の編成と執行・決算 諸会費等の徴収 | 監事 | 久保田 美幸 | 前川 信史 | 本会会計の監査 |
| 会報 | 副会長 山口 大武 | 渡辺 裕次 伊藤 俊太郎 川井 由美子 津村 大 米山 真也 倉持 亜季 岩井 大輝 内田 大樹 渡辺 真弓 高野 香 金子 侑太郎 堀切 風 片岡 唯 | 牧野 絵美 谷川 義宜 松林 康德 横瀬 まり 神矢 千亜紀 相澤 理沙 | 会報の編集・発行 | | | | |

常総学院中学校



入試説明会(要予約)

平成26年11月22日(土)
常総学院中学校 10:00~12:00
平成26年12月6日(土)
三井ガーデンホテル柏の翼 2F 15:00~16:30

■学校説明 ■入試説明
■体験授業 ■生徒発表
(11月22日のみ)

生徒の登校日であれば、個別に学校・授業見学ができます。事前にご連絡ください。

入試日程

推薦・専願入試
試験日:平成26年12月7日(日)
合格発表日:平成26年12月10日(水)

第1回一般入試
試験日:平成27年1月7日(水)
合格発表日:平成27年1月9日(金)

第2回一般入試
試験日:平成27年1月28日(水)
合格発表日:平成27年1月30日(金)

〒300-0849 土浦市中村西根 1010 番地

TEL 029-842-0708 (代) FAX 029-842-1014 URL <https://www.joso.ac.jp/junior>

常総学院高等学校



平成27年度 入学試験 定員495名 特進選抜αコース
特進β(B6・B7)コース

推薦(単願) 1月9日(金) 国数英(記述)・面接

一般(単願・併願) 1月16日(金) 国数英理社(記述)

併願型推薦(千葉県受験者) 1月16日(金) 国数英理社(記述)

◇お問い合わせ◇ TEL:029-842-8771(代)
(入試広報部) 〒300-0849 茨城県土浦市中村西根 1010 番地
URL <https://www.joso.ac.jp/>

常友祭

平成26年度

常友祭は11/8(土) 内部公開

11/9(日)一般公開で開催されました。

幻のどら焼き、再び

文化祭2日目、外部公開がはじまるとともに長蛇の列。視線の先には地元企業"志ち乃"と協力して作られた特製どら焼きが並んでいた。あっという間に売り切れた。あれから1年、再びあのどら焼きが販売されることとなった。

昨年度は甲子園記念グッズも販売しました!
"甲子園記念マフラータオル"
"甲子園記念キャップ"



同窓会では、毎年申カツ・お汁粉の屋台をだしています!毎年早い時間に完売となってしまう、人気屋台です。母校へ遊びに来る機会!是非いらしてください。

- ・常総学院オリジナル商品
- ・常総学院生徒会企画

来年度も行う予定です!

卒業生から、絵を寄贈していただきました



11月1日(土)に中学校にて、絵画の寄贈式を行いました。本校19期生(中学校3期生)の今井由美さんご家族から、柏木治子作『菊の花』という作品をご寄贈いただきました。柏木治子氏は第1回日展に入賞された作家の方です。落ち着いた色合いの中に、白い菊の花が映える素敵な絵です。中学校事務室脇の廊下に飾らせていただいています。生徒の皆さんはもちろん、卒業生の方も学校へいらした際には是非ご覧ください。

常総学院中学校3期生同窓会開催について

時期:平成27年度7月末~8月に予定 会場:牛久シャトー
気が早いですが、来年の夏、常総学院中学校3期生の同窓会を行います!牛久シャトーでパーベキューをしながら、懐かしい先生、友人と共に、美味しく楽しい時間をすごしましょう。BGMは森山直太郎「夏の終わりで」。集まれ!3期生!

編集後記

卒業すると母校の様子を知る機会は少なくなるもので、街中で制服を見かけたり、新聞記事に名前を見つけたりしたときに、懐かしさを覚えるのではないのでしょうか。常総学院高等学校は今年度創立32年目、常総学院中学校は今年度創立19年目を迎えました。私事ですが、先日、10年振りに在学当時の同級生からパーベキューに呼ばれ顔を出させてもらいました。本校で教員として働いている私にとっては、常総学院はとても身近な存在ですが、卒業生からするとまさしく郷里であるようで、当時の恩師の名前を出しては思い出話に華が咲きました。今後この縁と恩をつなげるよう努力したいと思います。

さて、皆様のお力添えにより、今年も無事同窓会会報第十四号を発行することができました。在校生の活躍はもちろんのこと、社会で活躍する卒業生の皆様方の力をお借りして数多く紹介することで、同窓会会報が会員皆様の日々の活力になればと考えております。『卒業生からの便り』等にご協力をいただける方を、編集部ではいつでも大募集しております。より内容の充実した会報を目指していきたいと考えておりますので、お力を賜れる方は学校へご連絡ください。今後とも、ご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。

卒業生の皆様方のみますますのご活躍をお祈りいたしております。

同窓会会報 谷川 義宜
編集委員 一同